

令和4年度第4回銚田市男女共同参画推進委員会協議結果まとめ

内 容

1 開会

2 委員長挨拶

3 議事

【報告事項】

- (1) 令和4年度銚田市男女共同参画講演会（高校1年生向け）について
※意見については、別紙のとおり。

【協議事項】

- (1) 第4次銚田市男女共同参画計画の策定について
→事務局案のとおり承認。
※意見については、別紙のとおり。
- (2) 第5回パパ・ママ感謝の日特別企画フォトコンテスト審査について
→広報ほこた・市公式HPにて公表予定。
※意見については、別紙のとおり。
- (3) 今後のパパ・ママ感謝の日運動について
→事務局案のとおり承認。
※意見については、別紙のとおり。
- (4) 令和5年度銚田市男女共同参画推進事業について
→事務局案のとおり承認。
※意見については、別紙のとおり。

4 閉会

(1) 令和4年度銚田市男女共同参画講演会（高校1年生向け）について

委員からの主な意見

・アンケートの「今回の講演会は、自分の将来について考えるきっかけになりましたか？」の問いに対して、「あまりならなかった」や「ならなかった」の回答が見られる。こうした否定的な意見を掘り下げていかないと先に進めない。アンケートの回答を見ると、家庭環境が影響していることもよく分かる。身近にいる大人の考え方が子どもにも大きく影響するため、そうした部分から変えていく必要がある。

→否定的な意見を掘り下げて行くことは重要である。アンケートだけでなく、講演会の中で意見を直接聞くタイミングを設けるなど、今後の課題として引き続き考えていく。

・アンケートは、QRコード等を読み込むデジタル版だけでなく、紙ベースでも実施して回答率を上げた方がいい。アンケートの回答欄を増やせるのであれば、「講演会でもう少し詳しく聞きたかったこと」や「男女共同参画についてどういう内容が聞きたいか」などの項目も追加した方がいいのでは。今後は、小学生向けにも講演会を実施できるといい。

→次回以降の講演会から検討・対応していく。

(1) 第4次銚田市男女共同参画計画の策定について

委員からの主な意見

・策定した計画については、市公式HP以外でも周知を行ってほしい。市公式HPにてPDFデータで掲載する場合、用語集のページに繋がるようにリンクも付けた方がいい。

→できるだけ広く伝わるような周知方法を検討していく。リンクを付けた形で市公式HPに掲載できるよう進めていく。

(2) 第5回パパ・ママ感謝の日特別企画フォトコンテスト審査について

委員からの主な意見

・Instagram部門とメール部門で、賞品の金額が異なっているのは何故か。

→Instagramで投稿すると、周囲の人たちにも見てもらうことができるため、周囲との輪が広がる。家庭内で協力している様子について、周囲の人たちにも見てもらいながら輪を広げてほしいといった意図があるため、Instagram部門の応募が増えるように賞品の金額を高めに設定している。

・メール部門の応募が少ないため、Instagram部門のみに限定し、最優秀賞の金額をもう少し上げてもいいのでは。電子マネーなども、賞品として検討してもいいのでは。

→次回以降のフォトコンテストで検討・対応していく。

(3) 今後のパパ・ママ感謝の日運動について

委員からの主な意見

- ・対象を絞ったうえでとのことだが、対象を「パパ・ママ」のみに絞るということか。
- これまでは新聞チラシ折込みで広く伝わるような周知を行っていたため、「パパ・ママ感謝の日運動」についての詳細が伝わりにくかった。今後は、講演会やセミナーなどの事業を行った際に、制度の詳細について紹介できる時間も設けていければと考えている。
- ・講演会やセミナーなどの事業に参加した人たちにしか伝わらないため、市民全員への周知ができないのでは。講演会やセミナーなどの事業に参加した人たちに制度の詳細について紹介できれば認知度も上がるかもしれないが、市民全員が関わる部分で周知した方がいい。
- ・今後は、新聞チラシ折込みは必要ないとする。新聞チラシ折込みではなく、関心を寄せてもらえるような何かをしなければならない。無意識の偏見や思い込みの解消に向けて、幅広い世代の意識づけに繋がるような何かを考えていかなければならない。
- 今回いただいた意見をもとに検討し、来年度も引き続き協議しながら進めていければと考えている。対象の世代を絞るということではなく、市民全員を対象にすることは変わらず、それぞれの世代に適した方法で制度周知などを進めていきたい。今後の新聞チラシ折込みをどうするかも考えていきたい。
- ・これから親になる 20～30 代の認知度が低いことが課題である。20～30 代の認知度をどうやって上げていくかが一番重要である。
- ・可能であれば、「パパ・ママ」ではなく、「家族で家事シェア」や「家族で〇〇〇」などの言葉に変えてもいいのではないかと。また、チラシを見てもらうためには、自分事として捉えてもらえるような内容（アンケート結果を活用したグラフなど）を載せた方がいい。文字だけでなく、関心を寄せてもらえるような内容にした方がいい。
- 今回いただいた意見をもとに検討し、来年度に繋げていきたい。制度の名称を変えることも協議いただく時期に来ていると考えられる。「家族で家事シェア」が伝わるようにもう少し強く打ち出し、文字ばかりでなく、自分事として捉えてもらえるような内容で考えていく。

(4) 令和 5 年度銚田市男女共同参画推進事業について

委員からの主な意見

- ・フォトコンテストの対象を「コト・モノ」にするとのことだが、「コト・モノ」だけでは審査しにくいのでは。「コト・モノ」だけで男女共同参画に繋がるのか疑問であり、フォトコンテストを行うのであれば人も写っていないと審査できないのでは。また、「家庭内でのエピソード募集」については、フォトコンテストよりも応募が少なくなる可能性があるため、川柳などに変更してもいいのでは。
- 確かに「コト・モノ」の写真だけではフォトコンテストの審査が厳しいため、「家族みんなで作った料理のエピソード」などのメッセージも添えて応募してもらおうと考えている。「家庭

内でのエピソード募集」については、小学生なども応募できるようなもう少し応募しやすい方法も考えながら行っていきたい。幅広い世代から率直な意見をいただけるように、取り組みやすい方法を考え、川柳なども考慮に入れていきたい。今回いただいた意見をもとに検討し、次回の推進委員会にて提案していく。